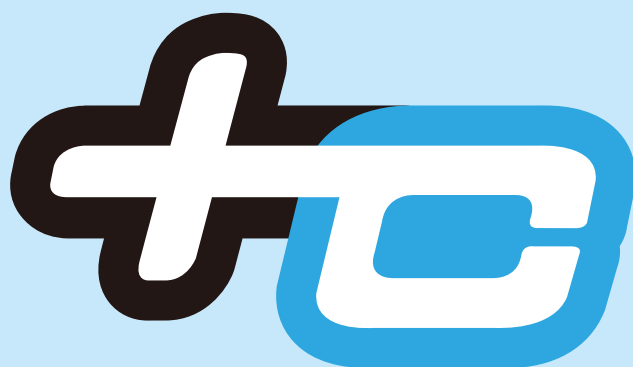


徳山高専だより

National Institute of Technology, Tokuyama College

2018年度

No.72



徳山高専

National Institute of Technology,
Tokuyama College

Creation / Challenge

Cooperation

Communication / Critical thinking



特集2

最前線に立つ学生たち

特集1

世界につながる学びの質保証

02	校長メッセージ
03	特集1 世界につながる学びの質保証
07	特集2 最前線に立つ学生たち
13	わたしたちが徳山高専の教員です
15	学生の思い出
16	2018年度就職・進学状況
17	わたしの就職進学STORY
20	情熱の証
23	退職教職員から

校長メッセージ

徳山高専の特色ある教育改革の取組み

～世界に通用する実践力のある開発型技術者育成をめざして～



徳山工業高等専門学校
校長
勇 秀憲

生産人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新などにより、社会・職業のあり方が大きく変化する厳しいこれからの時代において、高い志と意欲を持ち「技術を愛し、みんなから信頼される」自立した人間として、他者と協働しながら新しい価値を創造していくことができる人材の育成が、高専教育に求められています。高専を含む日本の教育全体では現在、先生が学生に教えることから、学生が何をできるようになったか、何をどこまで学んだかへの大転換(学びの質保証)としての「教育改革」が急ピッチで進んでいます。

本校は【文部科学省大学教育再生加速プログラム・テーマV】に高専で唯採択され、地域と密着し高い倫理観に裏付けられた教育を社会に保証しそれを

可視化する事業や【高専機構グローバル高専】において多様な異文化理解や外国語授業を通し地域に繋がるグローバル化に対応できる課題発見・解決力を育成する事業を進めています。また、これらの事業と連携して、高専機構MCCモデルコアカリキュラムに基づき、学生自らのキャリア実現に向けたプロセスや学修状況を示すポートフォリオに応じた学生支援のための【ポートフォリオ教育の実践事業】を高専全体の拠点校として取りまとめています。さらに、学生一人ひとりの嗜好に対応した多くの友達との交流を通じ、学生生活をより充実できる【学生間支援の推進事業】も始まりました。そして、学生一人ひとりが自らのキャリア実現や興味に合わせ組み合わせられる講座メニューにより新しい

技術者教育を構築する【KOSEN 4.0 イニシアティブ事業】も進めています。これら「世界につながる学びの質保証」の上で、学生たちは【KOSENの未来を考える】ワークショップにおいて自分の将来を考え生き抜くため高専教育のあり方を問いながら、また多くの海外研修でのそれぞれの生の体験【国際交流にチャレンジ】から、まさに「最前線に立っています」。

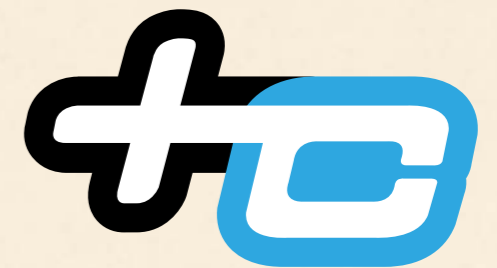
装い新たなこの「徳山高専だより」では、本校の教育改革のいろいろな取組みや生き生きと世界に羽ばたく学生の活動を集約としていきます。教職員と学生、保護者の皆様や地域社会などが一体となつて、学生が楽しく「学べ」、活発な課外活動や学生会活動などができる学校環境をさらに進めていきます。

2018年11月 徳山高専のロゴマークが 決定しました!

建学の理念にある「信頼」をイメージする青を使用し、徳山高専の頭文字「t」と「C」でレイアウトした、堅苦しくなく、ポップで視認性の良いシンボルマークです。

小文字で表した「t」は、徳山高専で培った複合技術と高度なリテラシーを生かして、様々なフィールドで技術的な課題を解決し、新たな価値を創造する人材へ成長し続けていくという意味で、「+(プラス)」マークにも見えるようデザインしました。

学生一人ひとりが、技術者として必要な素養となる、右に表す5つの「C」を意識し、未来に向かって挑戦し、社会のために役立つ人材に成長してほしいという願いが込められています。



徳山高専

National Institute of Technology,
Tokuyama College

5つのC

1. **C**reation / 創造
2. **C**hallenge / 挑戦
3. **C**ooperation / 協働
4. **C**ommunication / コミュニケーション
5. **C**ritical thinking / 批判的思考

徳山高専は学生が主体的に学び、世界に羽ばたくよう、教育システム、教育方法、教育内容を改革中！グローバル高専に進化するための代表的な取り組みを紹介します。

大学教育再生加速プログラム（AP）事業・テーマV

安全・安心志向型の新しい複合融合教育コアカリキュラムの構築

本事業は、地域との強い絆を持ち、全国で唯一の複合学科の高専として設置されている本校の特色を生かし、地域産業界に貢献するための「安全・安心志向型」技術者育成のためのディプロマ・ポリシー（※1）を策定し、これを達成するため、入口から出口まで一貫した教育課程をカリキュラム・ポリシー（※2）に則って再構築し、徳山高専コアカリキュラム（TCC）を構築しようとするものです。高専機構で開発した学生情報統合（教務）システムや学生ポートフォリオ等の「高専の教育改革のための各種情報システム」の本格運用へスムーズに繋がるように、本校独自のキャリア教育システム（きやりP）の発展・汎用化を図ることとして、ディプロマ・サプリメント（※3）として卒業生・修了生の質を目に見える

形で表現・保証できるようにします。これはグローバル高専事業と連動する形で地域産業界への貢献を深く加速化することを目指している事業です。

この事業では、学生の主体的・能動的な「学び」の学習環境を学校全体で提供します。それは、ICT活用も可能な施設・設備環境として現有的のICT教室、情報処理センター、ラーニングコモンズなどです。また常に学生自らが「学ぶ」状況に對峙するよう授業内容・方法を工夫・改善します。こうしたアクティブラーニングを本場の意味で深化させ、学生自身の「学ぶ」環境だけの学修の場を提供し実現することが、今後の新しい高専に求められる、それが「卒業時における質保証」を確かなものにします。

※1 ディプロマ・ポリシー：卒業・修了認定の基本方針 ※2 カリキュラム・ポリシー：教育課程編成および実施の基本方針
※3 ディプロマ・サプリメント：学修成果の客観的提示資料

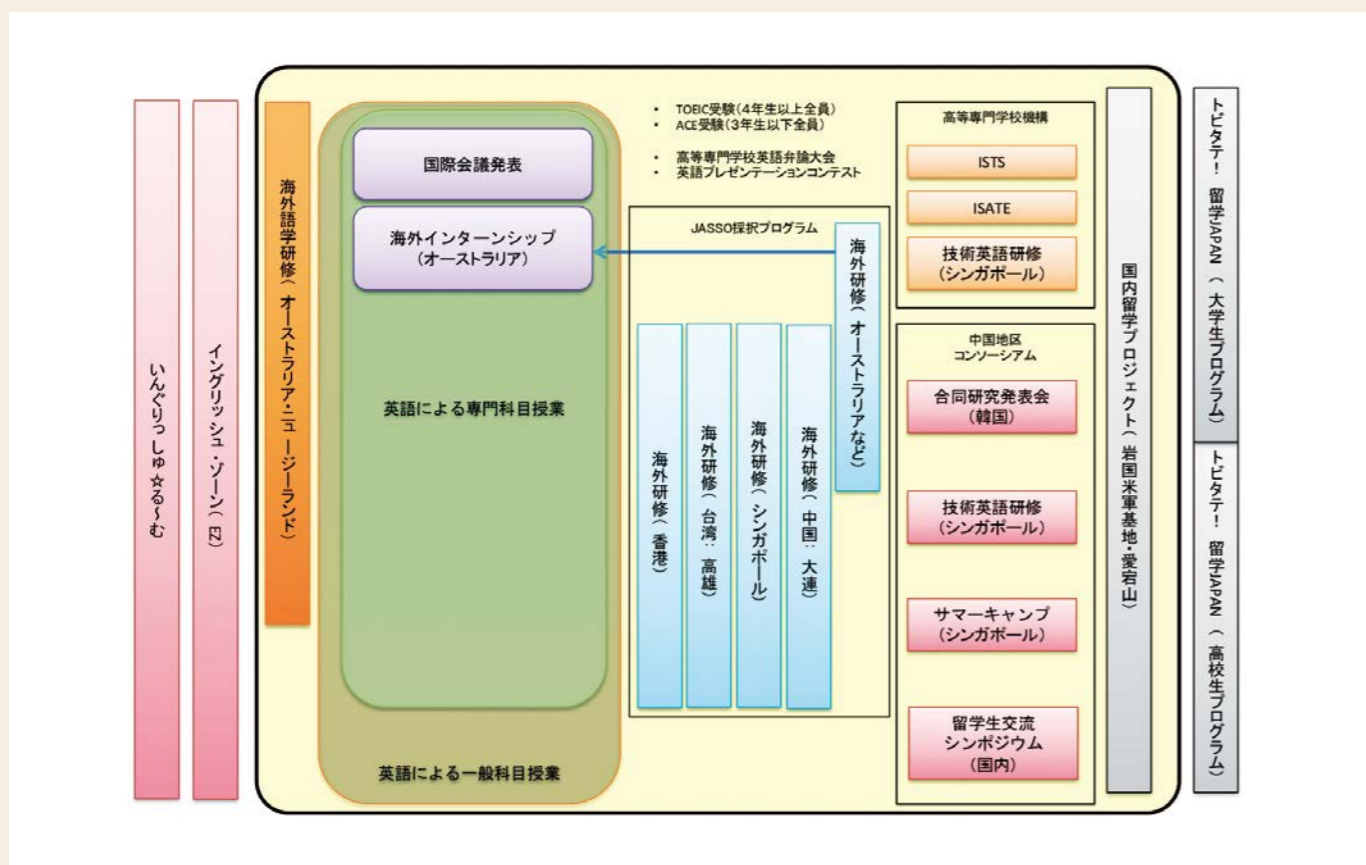
グローバル高専事業

青い鳥グローバル教育プログラム

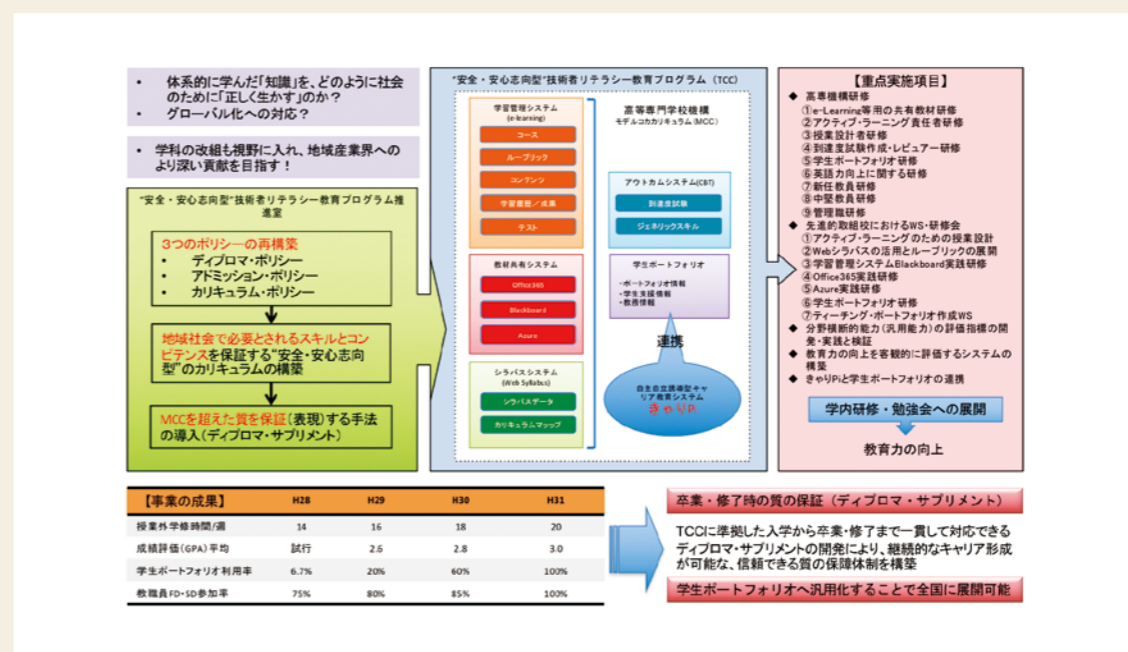
山口県の周防灘を臨む周南3市は、周南コンビナートと呼ばれる各種プラント企業群、鉄道車両、自動車、造船、鉄鋼、製薬などの製造業が基盤産業としての役割を担い、財政力指数はいずれも県内トップクラスにあつて市民生活を力強く支えています。これらの企業群は、化学、エネルギー、医療、環境などの分野で高い技術力を誇り、大量かつ高純度の水素を生産し、次世代産業育成に向けた高いポテンシャルを持ち、県内就職を希望する多くの学生を受け入れ、雇用の大きな受け皿となっていますが、一方で、国際競争の激化や国内需要の後退懸念から、これらの企業群の中には海外進出を始めた企業も多く、こうした地域企業のグローバル化への対応も、人材供給側である本校における課題となっています。

業のグローバル化における課題を解決する能力を育成する教育プログラムを開発することを特色としています。

本事業は、地域との強い絆を持つ本校としての特色を生かし、地域企業群を支える人材育成へのより深い貢献を目標とし、地域企業のグローバル化を支える実践的技術者を育成するための「青い鳥」グローバル教育プログラムを開発し、英語力にとどまらない、地域企



グローバル高専事業全体像



大学教育再生加速プログラム全体像



8月10日開催：学生主導で近未来に向かってKOSEN教育改革を！近未来に必要な力は？近未来の高専教育はどうあるべきか？

ポートフォリオ教育実践プロジェクトに取り組んでいます

以下は、高専とは少し関係ない話、と思われかもしれませんが、現在、社会で進められている大学入試改革では、学力の3要素の総合的・多面的な評価が求められています。その中でも、主体性をどう評価するかは大学にとって難しい課題と言えます。2016年度からの文部科学省の委託事業(代表大学：関西学院大学)では、大学がコンソーシアムを形成し、高校と連携しながら高校eポートフォリオの開発を通してこの課題に取り組んでいます。このシステムでは、Web出願ポータルサイトと組み合わせ、入試で主体性を評価するための基盤を構築し、広く高校、大学に開放する予定です。

高専そのものは直接大学入試改革に関係はありませんが、本校は、2016年度から大学教育再生加速プログラム(AP)事業(テーマ：V・卒業時における質保証の取組み強化)を開始し、高専機構モデルコアカリキュラム(MCC)を包含した、安全・安心指向型の新しい複合融合教育コアカリキュラム(Tokuyama Core Curriculum・TCC)の構築を目指しています。さら

に、現代GP「自主自立誘導型キャリア教育システム」(平成18～20年度)の取組みで構築した、本校独自のキャリア教育支援システム「きやりP」の運用実績などから、この度、本校が学生個人の学習履歴や学習活動に応じた指導方法を確立することを目的とし、高専機構が進めている「MCC推進に向けたポートフォリオ教育実践プロジェクト」の拠点校として採択されました。キャリア教育支援室を中心に、今年度は、高専の実践例を収集し、ポートフォリオとして必要な項目を精査し、年度末に公表、来年度には、高専教育におけるポートフォリオ教育実践手法の提案書を作成予定です。

本校はこのプロジェクト実施を通じ、高専機構ポートフォリオ教育の構築に向けた標準化や全国高専へ展開を主導したいと考えています。高専ポートフォリオシステムの確立は、個々の学生のポートフォリオに基づく学修指導を通して、高専教育の質保証を確実なものとし、高専生の卒業後の社会での活躍に益々寄与できるものと考えています。

学生間支援の促進に向けて 「偏愛コネクト」で友達づくり

皆さんの好きなものは何ですか？
誰にも好きなものがあると思います。それは人生を彩り楽しくするもの、自分にパワーをくれるものですよ。時間を忘れてそれに打ち込むことで、いつの間にか他人より得意になっていたり、自分にとってかけがえのないものになっていたりします。しかし、大人になつていくに従い、だんだん他のことで忙しくなり、自分の好きなものをおろそかにしてしまうことも多いと思います。もともと自分の好きなものを意識して人生の「瞬間」を楽しく過ごしたいですね。

高専機構MCC推進「学生間支援の促進」として、本校の事業計画が採択されました。現在、「偏愛コネクト」として、学生相談室を中心に色々な方からのアイデアをいただきながらシステムの設計を進めています。偏愛コネクトを一言でいうと「好きなことを共有できるグループをつくるシステム」です。

Webシステム上でカテゴリーを選択しながら、自分の好きな事柄を選択、または、キー入力します。サーバは

こうして集められた情報の中から、共通の好みをもつ者をグループとし、相互にチャットや情報共有のできるサイトを提供します。つくられたグループの1覧から、自分の入りたいグループを選択することも可能です。

グループができたら、実際に好きなことを共有する活動をしていくことができます。活動の例としては、写真を撮ることが好きな人のグループは一緒に夜空を撮るイベントを開催したり、英語を勉強したい人が集まって英会話をしたり、絵画をしたい人で展覧会を企画したりできるようなります。メンバー同士でいるんならサロンを計画し、それによって新たな仲間を増やすこともできます。

この偏愛コネクトを活用し、自分の好きなことを通じて友達をつくり、友達と交流しながら好きなことをたくさん見つけ、たくさんの友達からパワーをもらい、学校生活をより充実したものにしていきたいことを目指しませんか。



偏愛コネクトロゴ

KOSEN(高専)4.0イニシアティブ

高専からのイノベーション挑戦

山口県東部地区における技術教育ハブ拠点の構築

徳山高専は、日本有数の工業地帯をかかえる山口県東部地域の産業界の強い要望のもと、全国的にもめずらしい「機械電気」、「情報電子」、「土木建築」の3つの複合学科を擁する学校として、1974年の開学以来、複合学際的な技術者を育ててきました。来年度から始まる国立高専機構の第4期中期計画期間にむけて、新産業を牽引する人材育成、地域への貢献をさらに推進するため、KOSEN(高専)4.0イニシアティブ…高専からのイノベーション挑戦として、※「山口県東部地区における技術教育ハブ拠点の構築」事業に取り組んでいます。

徳山高専のKOSEN4.0は、広い意味での地域や近隣の高等教育機関などのいろいろな人たちとともに、世界に役立つ技術をリードしていくことができる開発型の技術者を育てる拠点づくりのための事業です。この事業では、ふだんの授業・実験・演習のほかに、学生が学科や学年をまたいで多様な課外講座を受けたり、各種のコンテストに低学年から積極的に参加したりする活動を応援しています。

これらの活動により、学生が自分たちの意思で自分に興味のあることをしっかりと学び、巣立っていく学生たちが実社会で活躍し、その成果がまた地域に循環していくための「ハブ」(人々が集まってさまざまなところにながっていく「軸」として徳山高専が機能することを狙っています。KOSEN4.0事業では、近隣の大学教員や地域にかかわる技術者を招いて、最先端の技術・仕事に関する特別講義や創造演習への助言を実施してもらいました。

事業の一貫として、各教員が学科外の学生にも短時間で教えられる各種の課外講座メニュー(2018年12月時点で65テーマ)の提供に加えて、学年横断の「ディープラーニング(AI…人工知能の一種)」「勉強会、学科学年横断の「身体知(人のからだ)が覚えている動作」測定装置の開発プロジェクトなども行っています。メニューに記載された講座については、学生が所属学科にかかわらず各教員に自分でコンタクトをとることで放課後などに受講することができます。当初は、高

学年の学生が自分の卒業研究などの一助として受講することを想定していましたが、低学年の学生も放課後の講座を受講したり、本事業による小型パソコンで学科横断の放課後学習(高専祭での1年生の出し物の開発など)をしたりしました。

今年度は、松江でのロボット・コンテスト(ロボコン)・中国地区大会、徳島でのプログラミング・コンテスト(プロコン)本選、釧路でのデザイン・コンペティション(デザコン)本選に、低学年の学生も参加し、応援や準備をしました。参加した彼ら/彼女らが次年度以降に各種のコンテスト等で活躍してくれることを期待しています。ロボコンでは惜しくも全国大会出場を逃しましたが、プロコンでは課題部門の2チームが本選で取組賞を受賞し、デザコンでは審査員特別賞を受賞することができました。徳山高専のKOSEN4.0は2018年度単年度の事業ですが、今後も課外講座などの活動を進めて行きたいと考えています。

※[http://www.kosen-k.go.jp/main_super_kosen/23_tokuyama\(H30\).pdf](http://www.kosen-k.go.jp/main_super_kosen/23_tokuyama(H30).pdf)



学科学年横断での「身体知測定装置の開発」プロジェクト



北海道(釧路)でのデザイン・コンペティションの様子



学生の創造演習のアイデアに企業技術者から助言をもらう様子



1年生が高専祭に向け小型パソコンを使っている様子

KOSENの未来を考える

近未来KOSEN、KOSEN再興戦略レポート 学生の声を届けました

グローバル化が著しい「KOSEN」において、学生たちが自分の将来を考え、生き抜く力を身につけるため、また、そのためには学生・教員がどのように変わっていくべきなのか、高専教育はどうあるべきなのかを考え、次の一歩の後押しとなる場を提供するため、「近未来KOSEN」、「KOSEN再興戦略」を実施しました。そのレポートをお届けします。

近未来KOSEN



実施日 2018年8月10日(金)13:00~17:00
参加者 徳山高専学生57名/宇部高専学生18名/オブザーバー39名/合計114名 職業人13名
企画・運営 近未来ハイスクール(株式会社オブンラボ 代表取締役 小林利恵子)

近未来KOSENを終えて

今回、徳山高専で実施した近未来KOSENは、株式会社オブンラボがこれまで高校生向けに開催していた「近未来ハイスクール」の高専版です。これは、「変人(各分野で活躍するエッジのたった大人、変化しつづける人)」と高専生がフラットな環境・状況の中で対話し、意識や行動の変容のきっかけとする教育プログラムです。将来(彼らが直面する近未来)について考える場として提供しました。

時間が進むにつれ、緊張していた学生の表情はやわらかくなり、姿勢が前のめりになっていく様子がみられました。学生の感度は非常に高く、最後の振り返りの時間には、今日体験したこと・気づいたことを深く自分の中に落とし込んでいく姿や、自分の次の行動にどう移すかを考える姿がありました。職業人は、「学生の目がキラキラしていた」「素直で真面目な学生が多い」という印象を持たれたようです。

また、今回の近未来KOSENでは、「高専にどう変わって欲しい?高専教育に求められるもの」という第二テーマも設けていました。学生から出た発表の中で会場中の大人が感銘を受けた意見がありました。「職業人の人たちの柔軟さに驚いた。学生の意識を変えるために授業に対する改革が



欲しい。そのためには授業を構成する先生だけでなく、学生の授業に向かう姿勢も根本的に考え直さなければいけないのではないかと話合った。」という発表です。人任せでなく、自分たちも変わらなければいけないという思いに、大人も学生の思い以上にこたえていく責任があると感じた瞬間でした。

学生からも「また実施してほしい」「また参加したい」「後輩にもこういう機会を与えてほしい」という声が出ており、また、参加への満足度も高く、二度きりのイベントで終わらずに、このイベントがきっかけとなってその先にどう変化したか、どう行動したか、変化行動のための更なるサポートについても今後考えていく予定です。

当日の流れ

- 1 はじめに 副校長挨拶
- 2 近未来KOSENについて小林より説明 / 10分
- 3 職業人自己紹介(1人4分程度) / 50分
- 4 ダイアログ(対話セッション) / 40分
- 5 インタビュー①(好きなグループで対話セッション) / 30分
- 6 インタビュー②(好きなグループで対話セッション) / 30分
- 7 今日の振り返り(学生と大人で分かれて) / 15分
- 8 学生より全体共有 / 10分
- 9 大人より全体共有 / 5分
- 10 職業人より学生へメッセージ / 10分
- 11 最後に 校長挨拶 アンケート記入 / 5分

ダイアログ

学生が学校名・学年・専攻と「働く」印象を伝え、職業人が自身のキャリアや「生きる力についての考え」「自分のこれから、社会のこれから」を語りました。



インタビュー

学生は自分が興味を持った職業人のテーブルに行き、職業人に質問、対話を行いました。



振り返り

学生は、一日を通じて感じたことをアンケートに記載しながら振り返り、グループで共有しました。職業人は、学生との対話で感じたことについてのディスカッションを行いました。



- 経歴だけ見ると尖ってすごい人ばかりだと思っていたが、意外と失敗している人たちが多くに気づき、また、その失敗をネガティブに捉えず乗り越えてきているのがすごいと思った。
- 不安が楽しさに変った。就職のための説明書みたいなものが入ればいいと思っていたが、そうではないことに気が付いた。やりたいことをやればいい、自分で道を決めて進めばいいということ、今日の職業人たちの実体験をもとに感じ、働くことへ希望が見えた。
- 大企業に行くことが安泰と思っていた意識がガラッと変わった。
- 明日から夏休みなので、ちょうど良い。自分が今日感じたことを将来に向けて行動に移していきたいと思う。

発表

学生は、グループの代表者が振り返りの内容を発表し、最後に職業人から学生へメッセージを伝えました。



学生からの意見に今お応えできること

第1部「高専のグローバル教育について考える」において、それぞれのグループで使用された模造紙には、以下のような意見が書かれたたくさんの付箋が張りつけられていました。これらは教員会議等で詳細を報告し、各教員に改善策を考えてもらうとともに、その結果もしくは途中経過などの内容をフィードバックします。



- 授業について**
- 授業で自分のPCを使いたい → 2020年度から「学生が自分自身のPCを学校教育に持ち込む」BYOD (Bring Your Own Device)を進めます
 - 発想は記憶と記憶のつながりだから、記憶することは大事
 - 将来活用できるスキルを勉強(授業)に取り入れるべき
 - 話を聞くだけの(手や頭を動かさない)授業はつまらない
 - 英語は大切と言っているけど、英語の授業が少ない
 - 90分間聞き続ける授業は眠気との戦いでしかない
 - 暗記科目の授業はノートを写すだけなのでいらぬ
 - 暗記して単位が取れるテストに意味があるのか
 - 高専間で授業の上手な先生の動画を共有する
 - テストの点数が持っている過去問の数により決まるのはおかしい
 - 他学科の授業を受けられるようにしたら良い
 - レポートは手書きでなければいけないの?
 - 同じ種類の教科は先生同士で連携すべき
 - 実際にモノを作る授業を増やして欲しい
 - 英語をアウトプットする機会が少ない
 - 英語を使う機会を増やしてほしい
 - 英語だけで異文化については学ばない
 - いろんな分野の先生を増やす
 - 授業はオンデマンドが良い
 - 授業数を減らして欲しい
 - テストって意味あるの?
 - 授業の質が低い
 - 座学が多い

回答 本校では、学生の「主体的・能動的で深い学び」を促すため、アクティブ・ラーニングをはじめとした様々な教育改革を推進しています。そのために、皆さんからも授業アンケート等で積極的に改善への意見をおしらせください。英語教育に関しても様々な意見がありましたが、2019年度からはGTEC4技能試験、個別最適化英語教育システム(スマート・スタディ)導入、海外研修の充実など、様々な取り組みを促進していきます。学生の皆さんの積極的な参加を期待しています。

- 学校について**
- Wi-Fiが使えるようにして欲しい → 2019年度から学内無線LANを解放予定です
 - 午後にチャイムがならない → 変更を検討中です
 - 土木建築工学科は低学年からコースに分かれて欲しい
 - 土木建築工学科はコースに分かれる必要があるのか?
 - 自由に学校の施設を利用できるようにして欲しい
 - メンタルヘルス面にもっと力を入れるべき
 - 会議が長い(先生が教員室にいない)
 - キャリアについて気軽に話したい
 - 女子留学生の宿泊施設がない
 - 混合学級は必要か?

回答 現在、徳山高専では2019年度から学生に学内無線LANの解放を予定しています。2020年度から全ての授業を90分間に統一し、午後にもチャイムが鳴るようにする方向で検討中です。低学年からのコース制の導入については、複合教育を特徴としている本校としては、大きな改革となり、学内で慎重に議論する必要があります。

- 留学について**
- グローバル化にアメリカ・ヨーロッパを入れて欲しい → アメリカ、交渉中です
 - 長期留学プランを増やして欲しい → 検討中です
 - 女子留学生を受け入れられるようにして欲しい
 - 治安についての細かな情報を示して欲しい
 - 留学生と交流できる機会をもっと欲しい
 - 英語になれる場を作る

回答 現在、アメリカの複数の大学と協力協定締結に向けて交渉中です。留学生との交流の場として「グローバル・テラス(仮称)」の整備を3月に予定しています。長期留学プランを構築するためサービスマーケティングチームの導入を検討しています。英語に慣れるのは身近なところでも可能ですので、積極的に短期・長期留学生と交流してください。女子留学生受入施設に関しては、大きな課題だと認識し、予算獲得の努力を継続しています。

- その他**
- 他高専と交流したい
 - 企業の人と触れ合える機会が欲しい
 - 学生も教員ももっと外に出よう
 - 男女学年国籍問わずコミュニケーションしたい

回答 他高専や様々な社会人と交流する場として、次年度以降も「近未来KOSEN」や「KOSEN再興戦略」などのイベントを実施する予定です。またサービスマーケティングチームを導入することにより「課題解決型インターンシップ・ボランティアワーク」等を本科でも実施し、就労体験やボランティア活動を通じて交流の場を広げることを計画中です。現在でも、いくつか交流の機会が用意されていますので、是非、積極的に参加してください。



実施日 2018年11月24日(土) 10:00~15:00
 参加者 徳山高専学生28名、宇部高専学生33名、長岡高専学生2名、ファシリテータ18名(企業人4名、明石高専教員2名、宇部高専教員3名、熊本高専教員2名、徳山高専教員6名、長岡高専教員1名)、保護者2名 合計83名
 企画・運営 徳山工業高等専門学校

当日の流れ

- 1 はじめに 副校長挨拶・周南市長挨拶 / 10分
- 2 開催にあたって / 5分
- 3 第1部のルール説明 / 5分
- 4 ファシリテータ紹介 / 15分
- 5 第1部「高専のグローバル教育について考える」 / 80分
- 6 第2部「特別講演会」 / 50分
- 7 第3部「3つの体験グローバルエリア」に分かれてワークショップ / 80分
- 8 終わりに 副校長挨拶・写真撮影・アンケート記入 / 10分

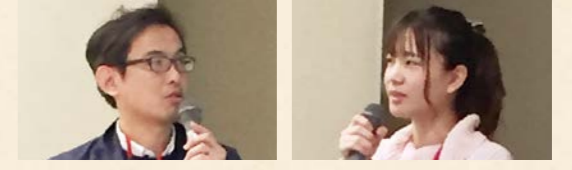
第1部「高専のグローバル教育について考える」

徳山高専・宇部高専の学生が教員や企業人と一緒に8グループに分かれてディスカッションを行い、今後の高専教育に対する意見を出し合いました。



第2部「特別講演会」

Next Technology社 辻貴美花さん、長岡高専 村上祐貴准教授に「高専の起業家マインド・海外市場を見据えて」というテーマで講演を行っていただきました。



第3部「3つの体験グローバルエリア」でワークショップ

<p>第1エリア 「英語で話そう!」</p> <p>留学生と英語でのコミュニケーションを楽しみました。</p>	<p>第2エリア 「トビタテ留学に挑戦!」</p> <p>海外留学体験者にこれから留学を考えている学生が話を聞きました。</p>	<p>第3エリア 「産学連携PBLワークショップ」</p> <p>地元企業が実際に抱える課題の解決策を学生と教員と一緒に考えました。</p>
---	--	--

国際交流活動報告

毎日が国際交流 高城の丘から始まる私たちの挑戦

国際交流室では、学生の皆さんが今後のグローバル化していく世の中に対応できるように、様々な国際交流プログラムを企画したり、トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム応募への支援、留学サポートを行っています。

どんなプログラムがあるの？

10days 香港研修

協定校の香港專業教育學院（IVE）と継続的な相互交流を行っています。春には香港IVEの学生が周南市に、夏休みには本校の学生が香港を訪問するプログラム（英語やエンジニアリングに関するワークショップ、企業見学、市内見学）を実施し、香港の学生との国際交流を推進しています。

3weeks オーストラリア語学研修

3高専（徳山、松江、米子）が連携して夏休みに語学研修を実施しました。徳山からは6名の学生が参加して、現地ホームステイや語学学校への通学を通じて、英語能力を磨き、異文化理解を深めてきました。

10days シンガポール研修

毎年春休みに、協定校のシンガポールポリテクニクを訪れ、シンガポール学生のエスコートの下で技術系のワークショップや異文化体験など多民族国家シンガポールならではの多彩な活動を実施しています。2018年度からはシンガポールの学生も本校に訪問するプログラムを開始しました。

8days 台湾研修

正修科技大學などの大学を訪問して、大学生・大学院生と英語でのプレゼンテーションを行い学生間の交流を行っています。その他にも、国立聯合大学での学生交流プログラムや文藻外語大学での英語ワークショップなど台湾内での多彩なプログラムを実施したり検討したりしています。

学内の国際交流

ホームステイ

ホストファミリーとして、シンガポール留学生を受け入れられました。辞書をひきながら、英語でたくさんのお話を語り合いました。今でもSNSを通じて連絡を取り合っています。

土木建築工学科 2年 村上日向子



Welcome Party

海外の先生による授業



学生レクリエーション



機械電気工学科 3年 和田涼太

数えきれないほどの文化が存在しながらも、自らの色を主張しながら発展する香港は、新しい発見と驚きの連続で街並みや人々から、とても面白いエネルギーを感じました。



異なる文化・生活習慣の中で、体調や時間やお金の管理をすることが最も大変でしたが、これ乗り越えた経験が人間として大きく成長できたと思う。

機械電気工学科 3年 緒方彬仁

トビタテ！ 留学JAPAN プログラム

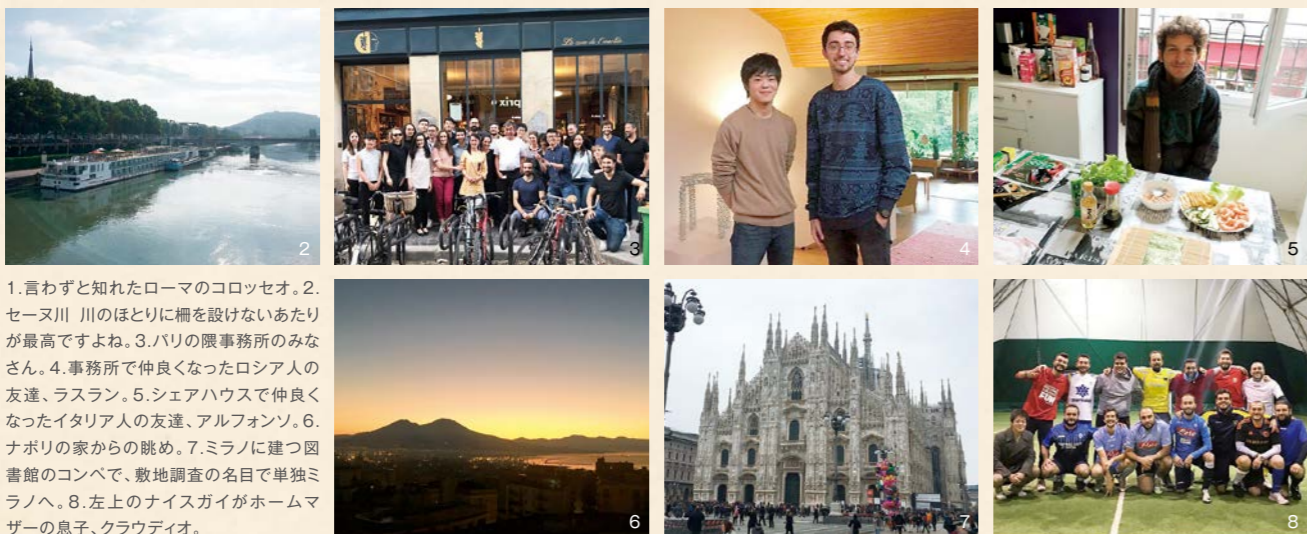


土木建築工学科 4年
川根 翔太

改めて留学を振り返って

一昨年の約1年間、フランスとイタリアの設計事務所でのインターンをしていました。

フォルダに入った写真や動画を眺めながら、留学中に起きた様々な出来事や出会った人々を思い出して、少しだけ寂しい気持ちと温かく、懐かしい気持ちとを再び思い起こしました。約7000枚の中から写真8枚を厳選しました。少しでも留学への興味に繋がれば幸いです。



1. 言わずと知れたローマのコロッセオ。2. セーヌ川 川のほとりに柵を設けないあたりが最高ですね。3. バリの限事務所のみなさん。4. 事務所でも仲良かったロシア人の友達、ラスラン。5. シェアハウスで仲良かったイタリア人の友達、アルフォンソ。6. ナボリの家からの眺め。7. ミラノに建つ図書館のコンベで、敷地調査の名目で単独ミラノへ。8. 左上のナイスガイがホームマザーの息子、クラウドイオ。

わたしたちが徳山高専の教員です

先生たちに聞いてみました!

名前
①専門分野
②もし今の職業についていなかったら?
③意外な一面
「実は私〇〇なんです」

機械電気工学科

藤田 重隆
①流体工学・流体機械
②機械設計者
③スキーが得意

大西 祥作
①機械設計
②プロジェクトエンジニア
③不具合?を起こすこと

櫻本 逸男
①機械力学・電子制御
②エンジニア
③ハムの通信マン

西村 太志
①材料強度学・材料工学
②ロータリーエンジン設計
③料理が得意

池田 光優
①熱工学
②自動車エンジニア
③現役ハンドボール

張間 貴史
①流体工学
②エンジニア
③シフォンケーキづくり

北村 健太郎
①電磁場計測
②自動車整備士
③堤防釣りが趣味

藤本 浩
①電子制御
②ものづくり職人
③少林寺拳士

石田 浩一
①応用物理
②宇宙飛行士
③3Dプリンタ作り

飛車 来人
①論理物理・数学
②駅長
③スキューバダイバー

福田 明
①計算力学・精密加工学
②会社員
③特になし

三浦 靖一郎
①福祉工学・物性物理学
②実業家
③アマチュア無線家

鈴木 厚行
①超音波工学
②起業家を目指す会社員
③カーペイントが得意

垣内田 翔子
①生体情報工学
②琴奏者
③アーチェリーが得意

池田 将晃
①ロボット工学
②発明家(小学生時の夢)
③深く眠ることが得意

情報電子工学科

百田 正広
①画像工学
②会社員
③会社採用試験2回失敗

山田 健仁
①制御工学
②企業のエンジニア
③猫と寝ています

義永 常宏
①理論計算機科学
②今の自分はないだろう
③見た目以上に小心者

奥本 幸
①パターン認識、画像認識
②海外で主婦
③自転車北海道を一周

高山 泰博
①自然言語処理
②古本屋の店番
③フルーツ好きなんです

重村 哲至
①計算機工学教育用教材
②メーカーのエンジニア
③趣味は草刈り

原田 徳彦
①応用物理
②会社員
③リバウンド中

浦上 美佐子
①分散情報システム応用
②(やっばり)教員
③資格マニアなんです

杉村 敦彦
①画像処理やその応用
②会社員
③自動二輪限定解除です

新田 貴之
③教育学(工学教育)
②通信系のエンジニア
④締切破りの常習犯

柳澤 秀明
①設計自動化、Webベースシステム
②エンジニア
③ガット張ります

古賀 崇了
①知的画像処理応用
②エンジニア
③パーカッションリスト

室谷 英彰
①半導体光物性
②考えたことがないです
③特にありません

力 規晃
①情報工学
②コンビニ店員
③クリームパン好き

宮崎 亮一
①音響信号処理
②塾の講師等の教育系
③ガロアと誕生日が同じ

土木建築工学科

上 俊二
①地盤工学
②建設技術者
③高校のとき空手道やりました

佐賀 孝徳
①水理学
②考えたことなし
③小学校の頃、嫌いだっただマラソン。先日4回目のハーフマラソンに挑戦

橋本 堅一
①応用力学 破壊力学
②ゼネコンの社員
③ポケモンGoレベル38です

古田 健一
①建築設計計画学
②建築設計事務所勤務
③高校時代にフィールドホッケーでインターハイ出場しました

渡辺 勝利
①水工学
②海外プラント建設の技術者
③シンガーソングライターなんです

目山 直樹
①都市計画
②都市計画コンサルタント
③よく歩くプラナオキ

桑嶋 啓治
①地盤工学
②ゼネコンに勤務
③周南ロボコン連続出場中

中川 明子
①建築史
②冒険遊び場の世話人?
③猫の鳴真似上手

島袋 淳
①建設材料
②何でも良いです
③特にありません

海田 辰将
①鋼構造学・インフラメンテナンス
②職質のプロ・人情刑事
③警察密着24時が大好き

温品 達也
①コンクリート工学
②心理カウンセラー
③BBQインストラクタ

劉 懋
①建築構造
②パン屋になりたいです
③嵐のファンです

一般科目

長戸 喜隆
①英語教育・英語文体論
②新聞記者
③高校時代代理系です

大橋 正夫
①固体化学
②おさかなやさん
③たこ焼きが好きなんです

天内 和人
①発生情報遺伝学
②おさかなやさん
③筋肉オタクなんです

一色 誠子
①日本近代文学
②「晴耕雨読」か「茶の湯の道」
③航空機(ヒコキ)ファンなんです

柏倉 知秀
①西洋中世史・商業史
②別の研究職
③高2まで理系でした。高3で文転したので大学進学で苦労しました

谷本 圭司
①漢文学
②喫茶店の雇われマスター
③マヨラーなんです

浅野 真誠
①情報理論
②消防士
③ラーメンがすごく好き

倉増 泰弘
①英語教育
②家でポテトチップス食べながらゴロゴロしたいです
③怖がりなんです

高橋 祥吾
①アリストテレス哲学研究
②親兄弟と同じ技術者
③高校時代は倫理より数学の方が成績が良かったです

菊地 右馬
①原子核物理学
②物理以外に興味はない
③自分ではわからない

山本 拓生
①数理物理学
②刀鍛冶になりました
③綺麗好きなんです

宇野 直士
①人間工学
②主夫
③料理やお菓子作りが趣味です

中村 康晴
①物性理論
②趣味の料理に関する職業
③小学校教員の免許を持っています

2018年度 就職・進学状況

学科	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科
就職先	(株)アドソー	OSPグループ(大阪シーリング印刷(株) /OSPマシナリー(株))	あおみ建設(株)
	NOK(株)	オムロン(株)	(株)大林組
	三精テクノロジーズ(株)	キャノンシステムアンドサポート(株)	鹿島クレス(株)
	(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション	京セラコミュニケーションシステム(株)	関西熱化学(株)
	武田薬品工業(株)光工場	京セラドキュメントソリューションズジャパン(株)	五洋建設(株)
	千代田化工建設(株)	国際ソフトウェア(株)	JXTGエネルギー(株)(麻里布製油所)
	東ソー(株)南陽事業所	サントリープロダクツ(株)綾瀬工場	住友不動産(株)
	東ソー・ハイテック(株)	ダイキン工業(株)	(株)竹中工務店
	東洋鋼板(株)	大晃機械工業(株)	東海旅客鉄道(株)
	TOTO(株)	東ソー情報システム(株)	東京水道サービス(株)
	パナソニック(株)オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社	東ソー・ハイテック(株)	(株)トクヤマ
	パナソニック(株)オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社 車載エレクトロニクス事業部(草津)	(株)トクヤマ	西日本高速道路(株)
	(株)日立ハイテクノロジーズ	パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社	日新製鋼(株)周南製鋼所
	水King(株)	パナソニック(株)コネクティッドソリューションズ社	(株)ベガハウス
	三菱電機(株)伊丹製作所	富士電機(株)	前田道路(株)
	メタウォーター(株)	三菱電機(株)通信機製作所	みらい建設工業(株)
(株)荏原製作所	NTT東日本グループ	(株)安成工務店	
ファナック(株)	(株)タイムインターメディア	一般社団法人 中国建設弘済会	
	(株)日立プラントメカニクス	岩国市	
	中国電力(株)	エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)	
	(独)国立印刷局	(株)シーエム・エンジニアリング	
	マツダ(株)	中国電力(株)	
		広島市	
		国土交通省 中国地方整備局	
		東京ガス(株)	
		防府市	
進学先	徳山高専専攻科	徳山高専専攻科	徳山高専専攻科
	佐賀大学工学部	九州大学経済学部	大分大学理工学部
	三重大学工学部		九州大学工学部
	九州大学工学部		京都工芸繊維大学工芸科学部
	東京大学工学部		九州工業大学工学部
			長岡技術科学大学
		豊橋科学技術大学	
		千葉大学工学部	
		三重大学	

専攻科	機械制御工学専攻	情報電子工学専攻	環境建設工学専攻
就職先	東ソー(株)南陽事務所	(株)日立ハイテクノロジーズ	中電技術コンサルタント(株)
		(株)モノリスソフト	(株)徳本工務店
			山口県
進学先	早稲田大学大学院情報生産システム研究科	筑波大学大学院システム情報工学研究科	九州大学大学院工学府建設システム工学専攻
	九州工業大学大学院生命体工学研究科	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科	九州大学大学院人間環境学府空間システム専攻
			山口大学大学院

学生の思い出

白熱した
リレーでした!



クラスマッチ(リレー)

クラブ間の連携を
確認しました



クラブリーダー
研修会

Try!



中国地区高専ロボコン



ロボット製作教室



高専祭

がんばり
ました!



新入生合宿研修



中国地区高専体育大会(サッカー)



中国地区高専体育大会(ソフトテニス)

FIGHT!



中国地区高専体育大会(ハンドボール)



中国地区高専体育大会
(バスケットボール)

MISSION



中国地区高専体育大会(水泳)



平原清掃

一生懸命
応援しました



野球応援

就職進学STORY

希望する会社や大学に就職・進学した学生はどんな学生生活をおくってきたのか？今年度卒業・修了する学生に徳山高専の5年間7年間を振り返ってもらいました。徳山高専生等身大のリアルストーリーと後輩へのメッセージです。



河野 朋基

後輩に一言
諸君、狂い給へ。

進学先
東京大学工学部
システム創成学科

河野さんのリアルSTORY

進学までの道のりを紹介！

- **本科1年** 9月 英語が嫌いだったので英会話を始める(本校 English Zoneにて)
- **本科2年** 9月 日立ハイテクノロジーズのインターンシップに参加
- **本科3年** 9月 本校主催の香港の語学研修に参加
11月 英語弁論大会・大学進学を決意
- **本科4年** 7月 宇宙太陽光発電のコンセプトに魅了され、その分野の世界権威の教授にインターンシップを直接メールで直談判
- 9月 京都大学生存圏研究所のインターンシップに参加、受験勉強開始
- 10月 起業、東京大学受験を決意
- **本科5年** 6月 徳山高専専攻科を受験合格
7月 東京大学工学部システム創成学科編入試験(筆記試験、面接試験)を受験合格
1月 現在 卒業研究及び起業の準備に没頭中



品川 泰千郎

後輩に一言
継続は力なり。
続けて努力することが大切。

就職先
広島市役所

品川さんのリアルSTORY

就職までの道のりを紹介！

- **本科1年** 就職の話で公務員への道を知る
- **本科2年** 担任の先生から大学の道を勧められ進学と就職の道に迷う
- **本科3年** 建築と土木の2択で土木の道に進む
担任の先生の話で民間企業に興味が高くなり、公務員の仕事内容に魅力を感じ、目指すようになる
- **本科4年** 公務員の説明会で、本格的に公務員の道を目指す
8月 通関広島市ヘインターンシップ
広島市への就職を決心する
- **本科5年** 公務員の勉強を少しずつ始める
● 部活を休止し、本格的に公務員勉強に努める
6月下旬 1次試験
7月中旬 2次試験
8月下旬 3次試験
8月31日 広島市に合格

公務員を目指すきっかけになった一番の理由は、公務員は民間企業と違い、市民のために働くというところに魅力を感じ、将来、大人になって市民のために働いているということに誇りを持てると思ったからです。また、継続して努力することが大切だと思いを、努力して勉強した結果、今があると思うので、これから社会に出ても継続させることを大切に頑張っていきたいです。



渡邊 晃汰

後輩に一言
礼儀を尽くすことは大切。
普段の生活でも意識しよう。

就職先
東ソー情報システム株式会社

渡邊さんのリアルSTORY

就職までの道のりを紹介！

- **本科1年** 就職率の高さにも魅力を感じ入学するが、就職進学について具体的に考えてはいなかった。
- **本科3年** 学内で行われた講演をきっかけに進路について考え始める
就職することを決意
- **本科4年** 4月頃 インターンシップ先を考える
6月頃 インターンシップ先を決める
8月 オムロンフィールドエンジニアリングでインターンシップに参加
プログラムの体験や駅の改札点検を見学する。
将来を考える上で大きな糧となる。
- 1月 就職先を絞り込み
地元で就職を決意
春休み 履歴書の記入
- **本科5年** 4月上旬 一次面接
4月下旬 二次面接
4月26日 内定

私は履歴書や面接は就職活動では当然重要だと思いますが、メールの返信をすることも大切だと思います。私は、企業からのメールには必ず返信するようにしていました。すると、面接のときに面接官の方にそのことについてほめていただきました。メールをしっかりと返信するだけでも相手の印象はよくなります。難しいことではないので必ずすることを勧めます。



松村 俊志

後輩に一言
自分のやりたいことを
問い続けよう。

進学先
九州工業大学
大学院生命体工学研究科
人間知能システム工学専攻

松村さんのリアルSTORY

進学までの道のりを紹介！

- **本科1年** 4月 ロボットをつくりたいと思いメカトロシステム部に入部
- **本科2年** 11月 NHK高専ロボコン 全国大会優勝を経験
- **本科3年** 10月 NHK高専ロボコン 地区大会で敗退し挫折を経験
- **本科4年** 11月 大学の先輩からNHK学生ロボコンの魅力を知り進路を決める
1月 大学編入のための勉強に取り組み始める
- **本科5年** 7月 第一志望の大学に落ちる
9月 二次選考で専攻科に合格
- **専攻科1年** 6月 長期インターンシップを機に大学院の進学を考える
- **専攻科2年** 7月 九州工業大学大学院に合格



NHK高専ロボコンで優勝したとき



4年で全国大会に行ったロボット(ロボット名:捲土重来)

私は高専入学当初、将来の選択肢に進学を考えていませんでした。しかし、メカトロシステム部での経験を通して、もっと色々な分野のロボットをつくりたいと思うようになり、進学を選択しました。高専は本科で5年間、専攻科で2年間と時間があることや、年代の幅広い人脈づくりができることがメリットです。高専という環境を十分に活かしてください。



環境建設工学専攻
石丸 千夏

後輩に一言
勉強や部活など、好きなことに一生懸命取り組むことが大切。

就職先
株式会社徳本工務店

就職までの道のりを紹介！ 石丸さんのリアルSTORY

本科2年
高校から始めた水泳で、全国高専大会2位の好成績。この頃は具体的な就職活動はしていませんが、後に水泳つながりで就職先とのご縁がありました。

本科3年
非常勤講師でもある石丸先生の設計事務所、建築模型製作のアルバイトをする。

本科4年
インターンシップで地元の内装業者の仕事を体験。5年生で卒業して、社会人として働いていけるのか不安を抱えていた。

本科5年
本校専攻科への進学が決まる。就職を慎重に考えたこと、在学中に建築士資格を取得できること、5年生最後の大会まで部活をやり返したことが決め手です。

専攻科1年

6月 長期インターンシップで文化財保護の仕事を経験。視野を広げるために、地元から離れて1か月の一人暮らし体験。

7月 2か所目の長期インターンシップで地元工務店の仕事を体験。元水泳部の社長と意気投合、インターンシップ後も、会社や地域のイベントに参加し、就職を持ち掛けていただく。

専攻科2年

4月 山口県建築士会のおためし会員になる。研修会やワークショップの手に伝いに積極的に参加。

4月 専攻科1年時のインターンシップ先であった、徳本工務店への就職が決まる。

徳山高専では、低学年時から、発達段階に応じたキャリア教育支援プログラムを実施するとともに、キャリア学習履歴管理システム（通称…きやりPi）を学生に活用させ、様々なサポートを行っています。

徳山高専のキャリア教育支援について

キャリア支援プログラム

- 1年生** 5年生のアドバイス、本校顧問による講話
- 2年生** 専攻科生のアドバイス、キャリア入門1、2、3
- 3年生** 講話「社会の求める人」キャリアプランの作成 卒業生の講話
- 4年生** キャリアガイダンス WebでのSPI試験 インターンシップ事前講習 進路支援セミナー
- 5年生** 履歴書エントリーシート、個人面接GD対策（自己分析、企業研究を行う） 社会人準備講話



きやりPiの入力ページ



キャリア・デー当日の第二体育館の様子

きやりPiでできること

- 自分の活動履歴（キャリア教育支援プログラムへの参加状況、部活動、コンテストなどへの参加、学生会・寮生会などへの参加状況）を残し、就活・進活時の履歴書作成に活用
- 活動実績によるマイレージを貯める（単位に利用可能）
- 前年度までの成績や出欠席情報の参照
- 本校に届いた求人情報・大学の募集要項、OB・OGの在籍情報の検索

キャリアデー開催

今年度は、10月5日（金）に、本校で初の試みとして、キャリア・デーを開催しました。多くの学生が参加し、参加企業・自治体の採用担当者や、大学教員から企業情報・自治体情報・大学情報を直接聞くだけでなく、同行した卒業生からも情報収集し、今後の進路選択の一助とすることが出来ました。

その他

体験型プログラムや自主活動の支援、就活・進活スケジュールによる指導を行っています。

情熱の証

徳山高専教職員の様々な取組をピックアップ

宇宙航空人材育成プログラム 北村健太郎

高専から宇宙を目指す
エンジニアを育成！

徳山高専が代表校として全国10高専が連携して高専生の宇宙理工学教育に取り組むプログラムが文科省に採択されました。本物の超小型人工衛星を学生主導で開発しながら、全国の高専生がネットワーク経由で学ぶ「高専スペースアカデミア」などを実施しています。

夏休みには、新居浜市において3泊4日の合宿形式で、「高専スペースキャンプ」を実施しました。

全国から集まった初対面の高専生たちが「宇宙」をキーワードに密度の濃いグループワークをこなしていきます。

最近では、宇宙開発の最前線からも、高専が宇宙開発や人材育成の拠点となっていくことが期待されています。



新居浜で実施した3泊4日の高専スペースキャンプの様子。全国から51名の教員と学生が集まって衛星開発のノウハウを勉強しました。



徳山で実施した高専スペースアカデミアキックオフの様子。全国から26名の教員と学生が集まってミーティングを行いました。



高専スペースキャンプでは、火薬を使ったモデルロケットの打ち上げを行いました。参加した学生は日本モデルロケット協会の4級ライセンスが取得できます。



「親子でプログラミングとIoT体験」講座

河村麻子

小学生向け公開講座を実施

徳山高専では、ものづくりの面白さを体験してもらうため、小学生向けに公開講座を実施しています。

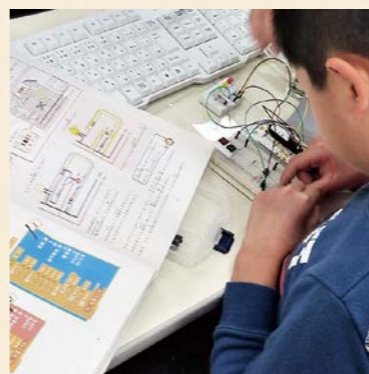
夏休みと冬休みに実施した「親子でプログラミングとIoT体験」は、小学生が自分で電子工作した「押しボタン式でメモリの流れる信号機」をプログラム制御する講座です。また、その信号機をタブレット端末から遠隔操作するIoT技術も体験しました。

講師は情報電子工学科のプログラミング演習や実験の補助をしている技術職員が務めました。この講座は、情報電子工学科で学ぶ内容をぎゅっと凝縮したもので、同学科の学生と教職員が小学生を補助し、講座を進めていきました。学生の補助は小学生に親しみやすく、高専の学生にとっても、よい経験になったようです。

情報電子工学科では、この他にも教職員が協力して「ぬり絵したネコをプログラミング」、「プログラミングで光を操ろう」、「自動運転に挑戦」、「サウンドプログラミング」などの講座を実施しています。



講座の様子2
Scratchプログラミング



講座の様子1
信号機の回路を作成中



IoT教材の構成

生物機能利用技術の開発

天内和人

ヒト疾患遺伝子の機能解析、

土壌微生物を利用した

水耕栽培や薬草栽培技術の開発

大学生時代から昆虫をモデル生物として用いたヒト疾患関連遺伝子の研究を行っています。ヒトでは出来ない遺伝学的スクリーニングや遺伝子導入技術を用いて、幾つかの新しいヒトの癌に関わる遺伝子を同定してきました(図1)。現在は、さらに研究の幅を広げ、菌根菌という土壌微生物を利用した、完全有機栽培、無農薬で「安全・安心な水耕栽培技術」の開発を行っています。この研究では夏に収穫可能ないちごの水耕栽培技術の開発に成功しました。いちごは一般的に冬から春にかけて収穫のピークを迎え、夏には供給できません。しかし、この水耕栽培装置を用いて、夏のいちごの栽培に成功しました。さらに菌根菌を用いた薬草栽培技術も開発し特許を取得しています。これらの技術はモンゴルなどの極寒冷地やフィリピンなどの熱帯地方における安全・安心な農業に応用することが可能です。現在では、世界の教育改革動向の研究も行っています。



ヤンゴン工科大にて

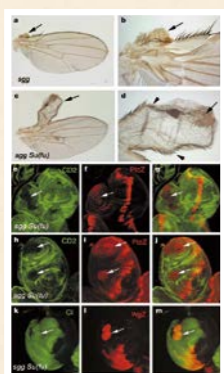


図1: 癌関連遺伝子の異常によるショウジョウバエの翅形態形成異常



新型水耕栽培技術による夏季いちごの収穫

ハザードマップを使った防災出前授業

目山直樹

土木・建築分野のキャリア教育にもつながっている

2010年度から1回2時限の体験型防災出前授業を小・中学校に出向いて実施しています。出前授業の前半は「土砂災害の科学」、後半は「土砂災害ハザードマップを使った演習」としており、受講後の宿題に①家族で話し合って避難場所を決める、②自宅でハザードマップをさがすことを課しています。

2018年度までの9年間で、受講者の累計は約1万4千人に上ります。山口県の小・中学生は10万8千人なので県下の小・中学生の1割強が受講したことになります。本校入学者のなかにも、防災出前授業の受講者が幾人も見受けられるようになりました。夏のオープンキャンパスCAカフェのスタッフはその半数が出前授業などの受講経験者となっています。



ハザードマップの演習



手に持てる土石流実験装置

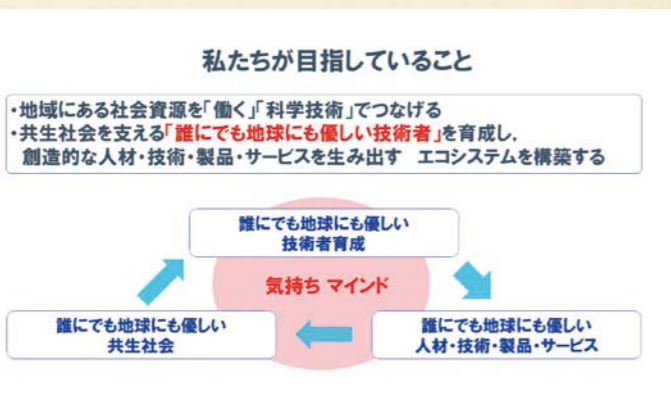
「誰にでも地球にも優しい技術者育成」への道

三浦靖郎
谷本圭司

科学技術振興機構 「共生人材育成エコシステムの構築」 事業の取組

年齢や障害の有無などに関係なく、だれもが活躍する共生社会の実現には、人々を支える支援技術の発展普及が不可欠です。

私たちは、社会福祉法人、支援団体、特例子会社、市役所、全国の高専など福産・官学の領域を超えた協働共創により、福祉に理解のある「誰にでも地球にも優しい気持ちを持つ技術者」の育成に取り組んでいます。今年度は、多様な人々が共生して働くオムロン京都太陽株式会社、ソニー・太陽株式会社にてインターンシッププログラムを、周南地域の地域資源である社会福祉法人支援団体、支援学校、大中小企業、ハローワーク、市役所、医療関係者など多くの異業種が集まって、全国的にも珍しい障害者就労や支援技術に関するワークショップを実施しました。「働く」「科学技術」を通して、高専が地域社会のハブになればと考えています。



共生社会を支える技術者育成のコンセプト



多様性と共生を考えるワークショップ

退職教職員から

徳山高専の教員生活を振り返って

機械電気工学科/教授 藤田重隆



徳山高専に教職を得た1978年から既に40年を超え、時がたつのは早いものだと痛感しています。この年は徳山高専の完成年度で、5年生までの学生がそろった年でした。学生は、自由奔放でバンカラな雰囲気を持ち、やんちゃな学生もいましたが、学生の質が高かったことを覚えています。教職員同士は、交流が盛んで和気藹々とし、また時間がゆつくり流れ、良き時代でした。

私は、工学部を卒業した新任の22歳、教員養成課程を終えた教員とは異なり、学生教育に関して全くの素人がいきなり学生の教育および指導をするので、すから、ずいぶん肝要な時代だったと思います。高専の教員は、公務、講義、工学実験および卒業研究の指導および学生指導等を行うことは勿論のこと、研究活動にも力を入れる必要があるのは現在と同じです。研究に関しては、当時の教職員の方々からご協力をいただきましたが、

ら、出身大学の先生の指導の下に研究を続け、工学博士の学位を拝受しました。またクラブ活動は、高校と大学1・2年の年代である高専生には、精神的および肉体的な成長を達成するための重要な活動の一つです。私は、赴任当初からサッカー部を見ってきましたが、当時は経験者が少なく、中々試合に勝つことが出来ませんでした。しかし、徐々に経験者が増え、チームレベルの上昇と共に試合に勝てるようになり、全国高専大会の優勝も経験させていただきました。

この40年で、高専を取り巻く環境および学生の気質は変わりましたが、現在も徳山高専にはレベルの高い学生が入学しており、また社会および企業からも非常に良い評価を得ています。この現状を維持し、社会に貢献できる学生を輩出して、さらなる徳山高専の飛躍を祈念しています。

ありがとうございました。

徳山高専の40年9月

土木建築工学科/教授 佐賀孝徳



平成31年3月で、徳山高専を定年退職します。振り返ると、実に多くの学生さんと接し、諸先輩の先生、同僚・後輩の先生、職員の皆様を支えられた事ばかりであり、心より感謝申し上げます。

大学在学中、故山口大学教授藤隆先生から薦められ、創設5年目の徳山高専に赴任しました。当時あらゆる事において、学校を良くしようという気概が溢れていました。土木建築工学科の先生方は、大学に負けない研究を行うため講座制により、研究の活性化を押し進められていました。ある論文が研究テーマを決めるきっかけとなり、それを契機に、実に多くの外国文献を読みました。乱流研究のそれまでの主流が、ランダムな流体粒子の運動として、統計的に取り扱うことでしたが、その流体運動の中に規則性、組織性があるものとして捉える必要が指摘され、そのために有効な手法や視点が示されました。その一つである流れの可視化手法を工夫して用い、乱流の組織構造に関する研究を行いました。国際学会も含め、様々な研究発表も数多く行い、学会表彰も受け、学位論文もまとめる事が出来ました。「流れの可視化」ハンドブックでは、可視化法の代表的な水路の水路装置として、徳山高専の水路が唯一高専で掲載され、縦渦構造の実験結果も写真入りで紹介されるな

ど、当時の日本の乱流研究の最先端を担う研究ができ、学会より功労表彰も受けました。

一方、後発校の高専として、低迷していたクラブ活動の活性化を二代福岡校長が取り組まれ、クラブのあり方検討委員会の活動、シンポジウム、クラブ活動の手引き作成などに取り組み、昨年発刊された「高専体育大会五十年の歩み」では、全国7番目の優秀校(中国地区で1位)までになりました。個人としては、バレーボール部の指導を継続して行い、部員、顧問の先生方、コーチ、保護者などの支援のもと、全国高専体育大会優勝8回、準優勝9回、3位4回、また24期生から高校の大会にも高専が参加可能となり、山口県の決勝大会でテレビ放映されるなど、中国大会に13回出場する事が出来ました。

その他、土木建築工学科の集中測量実習、独立行政法人化に伴う総合企画室の立ち上げ、学生主事室の仕事として、校内美化、リサイクル、処分規定の見直し、躰教育、EQ教育など、さらに担任・卒研、講義で多くの学生と係わることが出来ました。

最後になりますが、本校の学生達が、社会で活躍している事を多く聞く事ができ、教員として何よりの喜びです。今後とも優秀な人材を輩出する徳山高専であり続ける事を祈念しております。

徳山高専での41年間で振り返って

土木建築工学科/教授 上俊二



私が徳山高専に着任したのは1978年(昭和53年)、1期生が5年生になった創設5年目の時でした。早いものであれから41年が過ぎようとしています。今年3月末をもって定年退職することになりました。徳山高専一筋に定年まで大過なく仕事をさせて頂けたのはお付き合いをいただいた教職員や学生の皆様のご協力の賜物と深く感謝いたします。

着任した助手の時代は、学生と年齢も変わらず教えたというより一緒に学び成長させてもらったという印象が残っています。クラス担任は昭和63年のCA3年の担任を皮切りに4・5年の担任3回を含め、合計11回の担任をやらせていただきました。いずれも個性豊かなクラスで時には泣かせてくれたこともありました。が、教員としてやりがいのある仕事をさせて頂きました。クラブ活動は着任時より15年間は硬式野球部の顧

問を、私の趣味(トライアスロン)が転じて、平成5年より26年間は陸上競技部の顧問させていただきました。2代校長福岡先生の時、クラブ活動の在り方検討委員会で本校のクラブ活動を活発にしようとして議論したことを懐かし思い出します。また、数年前までは学校行事としてマラソン大会、クラブ対抗駅伝が開催されており、学生に混じって出場したことや、土木建築工学科の伝統行事である集中測量実習、長野山耐久徒歩には欠かさず参加したことが思い出に残っています。

そのほか、学生主事、寮務主事、学科主任などの校務をやらせていただきました。今は退職されている本校諸先輩の先生方や本校卒業生の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて深くお礼を申し上げます。最後になりますが、徳山高専の更なる発展を祈念しております。長い間、ありがとうございました。

寄り道も面白い

情報電子工学科/教授 百田正広



私は、1979年4月に情報電子工学科に採用され今年3月末に定年を迎えます。いろいろな思い出の中から、私の趣味の一つ、旅行中の出来事を取り上げます。

四国を旅行中に、土讃線の高知駅から大歩危駅に向かっていました。高知駅から特急電車にするか迷ったのですが、その時は急ぐ必要もなかったので普通電車にしました。土讃線は単線で、電車は1両での運転です。単線のため、上りと下りの電車が行き違うのは駅構内と思込んでいました。この思い込みが、電車は、新改(しんが)駅に到着しました。行き違う電車を待っているようですが、前方は行き止まりです。どこから電車は来るの?と思いつ、後方に移動し運転席の横でしばらく待つていると、はるか後方を逆方向からの特急電車が通過していきました(写真1)。特急電車を利用していたら、この珍しい光景には出会えなかったです。その後、電車はふたたび本線まで移動し次の駅に向かいました。予備知識がなかったため、その時の驚きは忘れられま

せん。旅行後に調べると、この駅は珍しいスイッチバック駅で、四国に二駅あるうちの二駅でした。旅行の楽しみ方は人それぞれに違います。私は、面白いことが起きることを期待し、マイペースで寄り道をしながら旅行を楽しんでいます。今後は、今興味を持っていることに加え、新たな面白い事を見つけていきたいと思います。

今日まで教職員や学生の皆様には大変お世話になり、楽しく過ごさせていただきました。40年の長きにわたり公私共々お世話いただいたお礼を申し上げます。「皆様どうもありがとうございました。更なる徳山高専の発展を祈っております。ごきげんよう。」



写真1: 逆方向からの特急電車が通過していく様子

緊急連絡システムの導入について

本年度10月に、大規模災害発生時(台風、大雨、地震等)における学生・保護者及び教職員への緊急連絡や安否確認を行うために、緊急連絡システムとして「さくら連絡網」を導入しました。

このシステムは、本校が学生・保護者・教職員に対して、緊急連絡、安否確認が必要と判断したときに、事前に登録したLINEアカウントまたはメールアドレスに緊急連絡や安否確認連絡を一齐送信するものです。

本校全学生、教職員およびその家族を対象としており、1アカウントに対し、4LINEアカウント、4メールアドレス、最大8個まで登録可能です。保護者の皆様もぜひ登録をお願いします。詳細は、お子様にお聞きいただくか、学生課教務係までお問い合わせください。



高城会は40周年

1979年3月に第1期生が卒業され、徳山高専同窓会(高城会)が発足してから40年経過しました。この間、多くの卒業生のご息にご入学いただきました。ありがとうございます。気が早いですが、三世代目の入学生を楽しみにしています。ここでは、誌面をお借りして最近の活動と40周年記念事業をご紹介します。

Webサイトの運営

情報発信はBikitaという同窓会Webサービスを利用して行っています。“高城会”で検索して下さい。

支部支援の充実

地域や職域の支部が開催する集会への支援規則を策定し、2018年11月の関東支部設立集会への支援が第1号となりました。支部の集会を開催される方は、高城会事務局までご相談下さい。

40周年記念事業

母校支援、懇親会、記念誌発行の3本柱で計画しています。懇親会は、2019年8月10日(土)18時からホテルサンルート徳山において、会費5,000円で開催予定です。詳細はBikitaに掲載します。

今後とも、高城会をよろしく願っています。



本校の「設計情報工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)からの認定を受けています。



COLLEGE OF TECHNOLOGY
ACCREDITED
Mar. 2013

本校は、平成24年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構の認証評価を受け、認証評価基準を満たしていると認定されました。平成18年度に同機構による認証評価を得ており、引き続き認定されたものです。



大学教育再生加速プログラム

本校の申請が文部科学省の平成28年度大学教育再生加速プログラム(AP) 高大接続改革推進事業「テーマV 卒業時における質保証の取組の強化」に採択されました。

教育機関職員の現役を終えて

事務部/事務部長

東善和



徳山高専退職時の寄稿ですが、他機関も含めて振り返らせていただきます。神戸港を見下ろす六甲山の斜面に立地する神戸大学から社会人スタート。自然の脅威・人の温かさを知った阪神淡路大震災「神戸大学S52」H15」子ども会や青年団の衰退、社会教育の重要性を感じた「国立淡路青年の家H9」H11」高等教育機関の大改革(法人化)、国家公務員から民間人へ「広島商船高専H15」H16」労働法適用後の困難な労務管理、給与構造改革の対応「香川大学H17」H18」法人化後の大型統合(大阪大学)、看板を下ろすことの意味「大阪外国語大学H18」H19」

そして、「徳山高専」を最後に教育機関職員の現役を終えます。財政状況が厳しい中、教育機関も法人化の名の下に創意工夫が求められ、教育・研究だけを考えていればよい時代ではなくなりました。徳山高専では、業務の効率化や節約しか言わなかったような…、教育予算を削減すると将来が危ぶまれます。先生方が教育に専念できるような学校になることを願うばかりです。「〇〇は徳山高専!」というような特徴ある高専に発展することを期待しております。短い期間でしたがお世話になりました。ありがとうございます。

感謝

総務課/課長補佐

大谷幸



42年前、私の中では高専の存在もあやふやなまま(ググることのできない時代でもあって)、また、大雪の中、面接のため来徳し、徳山大学を過ぎたあたりから、本当にこの先に校舎があるのかと不安に思いながら坂を上ったことを思い出します。学校現場で働きたいと願っていましたので、高専に就職できたことは大きな喜びでした。色々な係を経験させていただきましたが、やはり学生課で学生と直接接する機会があったことが一番だったかなと思います。42年の間にたくさんの方との出会いがありました。徳山高専での出会いや、高専を通じた研修・会議、イベント等での出会いの中で、たくさん思い出をすることができました。楽しかったこと、苦しかったこと、様々な出来事がありましたが、皆様のおかげで無事今日を迎えることができました。本当にありがとうございます。徳山高専のますますのご発展をお祈りいたします。





徳山高専だより No.72

発 行 総合企画室
所在地 〒745-8585 山口県周南市学園台
T E L (0834)29-6200(代表)
F A X (0834)28-7605(代表)
印 刷 大村印刷株式会社
発行日 2019年(平成31年)3月4日
U R L <http://www.tokuyama.ac.jp/>